

稲美町教育委員会議事録

- 1 開催日時 令和2年12月24日(木) 開会 15時00分
閉会 16時19分
- 2 開催場所 稲美町役場305会議室
- 3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 12月・1月の行事予定について

日程第2 協議

- (1) 令和2年度稲美町教育支援委員会の答申について
- (2) 令和2年度第2回「困りごとについてのアンケート」集計結果について

日程第3 その他

- (1) 11月分問題行動件数について
- (2) 第260回稲美町定例会の一般質問の回答について
- (3) 成人式について
- (4) 令和3年度兵庫県市町村教育委員会連合会事業予定について(別冊)

4 出席委員

教	育	長	松	尾	哲	子
委		員	後	藤	哲	夫
委		員	北	口	隆	男
委		員	本	多	澄	子

委 員 高 田 道 夫

5 出 席 職 員

教育政策部長	沼 田 弘
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山 本 勝 也
教 育 課 長	木 村 明 宏
学校教育担当課長	野 邊 久 美
管理担当課長	井 上 智 久
人権教育課長	丸 山 一 也
生涯学習課長	畠 邦 彦

6 開 会

教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中、ご出席たまわり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

次は、議事録の承認ですが、前回定例会の議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

各委員

意義ありません。

教育長

「異議なし」の声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は、議事録署名委員の指名です。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規程により、教育長から指名いたします。本多澄子委員にお願いいたします。

続きまして、私の方から、日程第 1、諸報告を行います。諸報告は別紙資料の通りです。12 月 1 日に、臨時校長会と臨時園長会を持ちまして、新型コロナウイルス感染症患者発生時の対応と、これに伴う差別や偏見の防止について協議しました。これまで保護者等に濃厚接触者または感染者という事例があったのですが、児童生徒、園児には陽性者は出ておりません。また、交流人事面接ですが、今年は、いろいろな地域から 24 名の先生方の応募がありまして、19 日と 25 日の 2 回に分けて面接を行います。簡単ですが、これで報告を終わります。続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課報告（報告内容省略）

人権教育課報告（報告内容省略）

生涯学習課報告（報告内容省略）

文化の森課報告（報告内容省略）

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

後藤委員

教育課が実施する12月21日の第3回スキルアップ研修についてです。きめ細かく研修を実施していただいているその一環なのですが、その内容が、「若手教員の資質向上研修（連携と協働）」となっています。数ある研修の中で、なかなかこういう内容については件数が少ないのではないかと思います。学校は、教員みんなで教育にあたる場所でありまして、教員間の連携や、学校が目指すところに力を入れていくというその視点がとても大事だと思います。このタイトルを見て、今、そんなふうに思いました。ぜひこれからも、現場の経験を持った先生方から、教育活動を支えるいろいろな考え方を伝えていっていただきたいと思った次第です。

また、再任用希望が24人あるということですが、多いなあという印象を持ちました。それに対応するポジションは、用意できるのでしょうか。再任用希望の先生方はそれぞれの事情もあつての希望だと思うのですが、そこのところはどうかという心配があります。どうでしょうか。

木村教育課長

再任用についてはいろいろな条件がありますので、これまでの勤務の経過を見て、フルタイムで希望される場合は、できる限り教員定数の中で調整するように人事を考えております。ただ、短時間勤務を希望される方につきましては、県からの新学習システムの加配であるとか、主幹教諭のマネジメント加配であるとかは、学校の規模や主幹教諭の数によって変わってきますので、いくつ枠が配当されるかによります。その場合、すべての方がご希望通りにというわけにはいかないのですが、できる限り活躍していただけるように考えて人事をしております。また、もしその枠で再任用として採用できない場合は、臨時講師としてご登録いただいて、病気や怪我、産休等で欠けた場合にお力をお借りすることをお願いしているところです。

後藤委員

はい、よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございます。他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、日程第 2、協議事項(1)「令和 2 年度稲美町教育支援委員会の答申について」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項(1)の協議を終わります。

次は、協議事項(2)「令和 2 年度第 2 回「困りごとについてのアンケート」集計結果について」を事務局から説明願います。

丸山人権教育課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

北口委員

「困りごとについてのアンケート」は年に 2 回実施されている、しかも始まってからかなり経過していることがわかりました。しかし、子どもは 1 年ごとに変わっているのですから、同じような調査であっても、中身が全然違うということからすれば、やはり、継続していくことの必要性、重要性を感じるころです。今回、小学校、中学校どちらも、数字の上では数が増えているということでした。コロナ禍の中で子ども達の心理状況や如何に、やるせない気持ちがこういうふうなことに繋がっていなければいいのだけれど、と思います。ひょっとするとストレスのはけ口というようなことになっているかもしれません。また、原因の中で、ちょっとしたからかいというものもあります。この問題は、やられた方、いじめられた方の気持ちを尊重するというのが基本的な考えだと思います。文章の中には表れない、なんとも口にすることができない、あるいは表現できないようなつらさというものを抱えている子どもがいるとすれば、やはり先生方の的確な指導によって、早くそれを見つけ、救ってやらなければならないと思うころです。数字の中には表れない問題をどう捉えていくのかということは、考察の中に縷々書かれておまして、本当に大切なことがきちんとここに整理され、書かれていると思って見させていただきました。先程の説明にもありましたように、

困ったことがあるという子どもの中で何名かが、事後指導において、家庭への連絡と共に、協力して手を打っていくというような現実もあります。

小学校の方では、「町全体では10月末の時点で5件をいじめ事案として報告を受けている。これは、アンケートにすべてを委ねるのではなく、日頃から児童生徒の変容に気づき、困っている児童に対して寄り添って対応してきた各学校での取組の結果といえる。」と考察されています。こういう学校の取組の結果が成果としてここに表れているのであり、「引き続き、コロナ禍による児童の心理的ストレスは計りしれない状況にある。早期発見、早期対応、そして未然防止のための組織的対応に努めていかなければいけない。」ということは、まさにその通りだと思います。今後においても、こういった形、あるいはこうした視点からの実践というものを、ぜひお願いしたいと思います。それから、この問題は、学習の中では道徳であったり、学級指導で直接対象児童に指導したりするということもあるでしょうが、「何がいけないのか考えてみましょう。」「相手の気持ちになって考えてみましょう。」といった心理的な状況把握、あるいは考えの面だけで終わってしまうということがあってはならない。いけないことはいけないと、すぐに止めさせなければいけないこともあるのだらうと思います。「相手を傷つけていることに気づかせるとともに、やめさせる必要がある。」と考察の中にもあります。まず、そういう行動をきちんとやめさせるということがなかったらいけない、指導はそこからだと思ふのです。

中学校でもまさに同じようなことが書かれています。「担任だけで対応せず、現状について教職員が共通の認識を持つようにしている。また、生命尊重や規範意識を育むため、学校の教育活動全体を通じて、“いじめは犯罪である”ことや“相手を思いやる”ことの重要性を今後も継続して指導していくことが必要である。」とあります。まさにその通りだと思います。これまでも何回も何回も言われていることですが、1人の担任が悩むのではなく、チームで、あるいは先生同士が連帯をして対応していく、今後ともこのような支援体制が必要だと思います。その上に、「本アンケートから見えてくる生徒の人間関係は氷山の一角に過ぎないと捉え、今後も引き続き、日頃から生徒の人間関係を観察・情報共有し、生徒の発するサインを見逃さないよう、組織的対応に努めていかなければいけない。」と書かれています。中学校では特に、学習においても、特別活動の中やクラブ活動においても、それぞれの担当が違って来るわけですから、そのあたりの情報共有をどうしていくのか、日々の問題の中できちんと整理されていく体制づくりが必要なのかと思います。また、「生徒の不適切な言動に対して毅然とした態度で正しい方向へ導いていくよう指導を継続してきた成果の表れと推測できる。」とあるところから、先生方のご苦勞を思うとともに、きちんとした形でくださっているとわかりました。「コロナ禍での教育活動が続いていくため、想定外の範囲を超える生徒の困り感が表出してくることが考えられる。」とも書いてありますが、まさにその通りだと思います。第3波がこんな勢いになるとは思っていませんでしたし、ここ2、3日の様子を見ますと、イギリスの方では新型コロナの変異種が発見されたということです。感染力とか毒性の強さとかいうようなことが心配されていますが、日本に入ってくる

ことも十分考えられます。今後、またどんな状況になるか分かりません。子ども達の心理状況について、特に3年生はこれから入試を控えてただでさえ不安定な状況になることかと思いますが、どうか、先生方の温かい包み込みの中で安全で安心した学校生活が送れるようによろしくお願いいたしますと思います。本当にご苦労様です。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

高田委員

アンケート結果として、小学校と中学校の結果が同じように書かれていますが、実際のアンケートで使われている言葉は、小学生と中学生で表現や内容は違っているのですか。

丸山人権教育課長

これは、集計用に使っている言葉で、実際のアンケートでは、小学生用に簡単な言葉を使っています。以前は小学校低学年、高学年、中学生用と分けていたのですが、今は小学生用で統一したものを使っています。この「困りごとについてのアンケート」という形になりましたのは昨年度からで、それ以前は、「いじめアンケート」という名称でした。より子ども達の困り感を引き出すために、このように変えて行っています。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項を終わります。

次は、日程第3、その他(1)「11月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (報告内容省略)

丸山人権教育課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

子ども達の問題行動も万引きや喧嘩などいろいろあるのですが、このコロナ禍で一番心配なのは、家庭生活の安定性です。経済面でかなりの打撃が出ていることでしょうし、そういったことが影響して家庭の中の不安やイライラが募っていることも考えられます。そうした視点で子ども達を見ていかなければいけないと思うのです。服装面で乱れているとか、イラ

イラ感が強いとか、三者面談で将来のことを考える中で、進路変更を余儀なくされたとか、そういったことがなかったかどうか心配になってきます。今後もコロナの影響が子ども達に及んでいく可能性が強いです。これから2ヶ月、3ヶ月、あるいは半年程、ワクチンが普及するまで心配が続くわけですので、今までとは違う観点を持って、子ども達を見守っていただきたいと思います。先生方にはすでにそうしていただいているとは思いますが。どうか、よろしくお願いいたします。

教育長

はい。わかりました。

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、その他(2)「第260回稲美町定例会の一般質問の回答について」を事務局から説明願います。

沼田教育政策部長 (報告内容省略)

山本生涯学習担当部長兼文化の森課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

給食に関してこれまでセンター方式とか、自校方式とかという言葉は耳にしたことがあるのですが、親子方式というのはどういったものか、教えていただきたいです。

沼田教育政策部長

親子方式というのは、小学校で作った給食を幼稚園にというものです。例えば隣接している所をイメージしていただいて、天満小学校で幼稚園の分も作って、幼稚園に届けるという形のもので。播磨町は、小学校で作って中学校に届ける形を計画されています。

後藤委員

わかりました。ありがとうございました。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、その他(3)「成人式について」を事務局から説明願います。

山本生涯学習担当部長兼文化の森課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、その他(4)「令和3年度兵庫県市町村教育委員会連合会事業予定について」を事務局から説明願います。

沼田教育政策部長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、1月28日(木)15:00からですので、よろしくお願いいたします。

今年も残り1週間となりました。ちょうど1年前の今日は、まさか来年1年間がこういう1年になろうとは夢にも思っていなかったんですが、本当にコロナに振り回された1年でした。予定していた事業が中止になったり、中止になった分、そのことを書面で案内したり、また、学校では消毒等いろんなことに気を遣ったりと、仕事が減っているのか増えているのかわからないという状況に振り回されました。本当に、先生たちは臨機応変にいろいろなことで対応していただき、学校行事も順調に進めることができました。見方を変えれば、この時期、学校行事や授業の在り方、進め方等について振り返るいいチャンスになったのではないかと思います。今年の教訓をぜひ次年度に生かしていただきたいと思います。

また、ワクチンができたといいながらも、コロナがどこまで長期化するのかということが目に見えません。教育委員会としましては、教職員が学校現場で安心して子ども達に向き合い、授業を進めていけるように、取り組んでいきたいと思います。委員の皆様もご協力よろしくお願いいたします。

1年間、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。